

# 情報家電(ネットワーク家電)

## 1.はじめに

最近の携帯電話でインターネットサービスを実現したiモードの急速な普及には目をみはるものがあります。また欧州では衛星放送と電話回線を利用したTVを端末にしたインタラクティブサービスが立ち上がっています。まさに家電をネットワークサービス端末として利用していくネットワーク家電の出現であります。このネットワーク家電についての進展の過程、これからの進展の方向について解説いたします。

## 2. マルチメディアの世代交代(図-1 参照)

マルチメディア化の進展は大きく2つのフェーズに分けられます。

### (1)メディア家電の発展期('78~'99)

- ①第1期：音声・文字のデジタル処理の実用化  
→CD、PC、WP、ゲーム
- ②第2期：映像デジタル処理の実用化  
→DVD、携帯電話、STB、カーナビ

### (2)ネットワーク家電の発展期('00以降)

- 通信・放送・ネットワーク機能のソフト処理化
- ハード／通信費のコストダウン化  
→次世代TV、ITS、W-CDMA等

## 3. ネットワーク家電時代(図-2 参照)

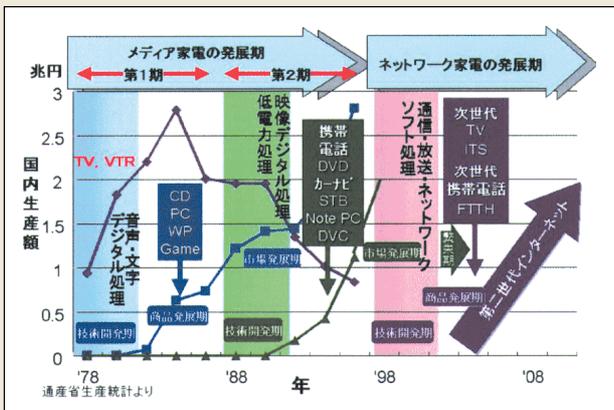


図-1 マルチメディアの世代交代

ネットワーク家電の普及の鍵はサービスにあります。このサービスを考える上で、以下の3つの技術要件を考慮する必要があります。

### (1)異種ネットとの連結

様々な異種ネットワークを意識する事なく簡単にアクセスできる仕組みが必要となります。ネット家電用のポータルサイトがその代表例です。

### (2)蓄積型情報通信への対応

記録メディア(HDD、DVD、メモリカード)が今後急速に家電に普及すると考えられます。

これに伴い情報コンテンツの一時記録、記録メディア間のコピー／移動により、据え置き型と携帯型を問わず利用場面に応じた用途への対応が可能となります。この際、著作権保護などのセキュリティ対策は普及に不可欠となってきます。

### (3)高速大容量インフラの進展

従来の音声・文字主体から、高精細画像、動画像までを取り込んだマルチメディア型のネットワークサービスが可能となります。

これらにより、極めて多彩なサービスを提供できるベースは整います。要はサービスの内容です。

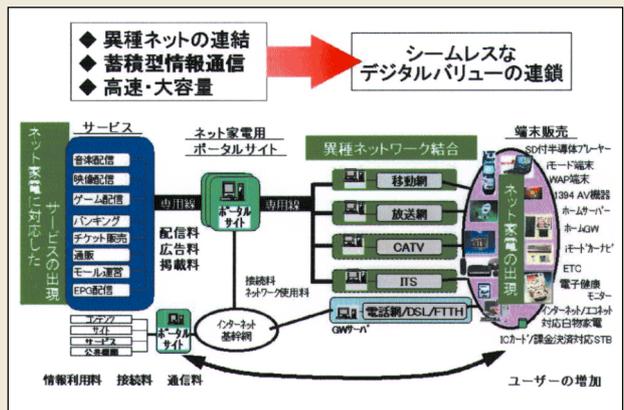


図-2 情報家電に対応したサービス

## 4. おわりに

このように、①如何にユーザに受け入れられるサービス内容を提供できるか? ②サービス提供から配信の仕組み、ネット家電までのトータルのサービスソリューションを如何にスピーディに構築できるか、がネットワーク家電普及の鍵を握るものといえます。